

日本学術会議生産農学委員会応用昆虫学分科会
第1回公開シンポジウム

昆虫科学が拓く世界

- 研究者の再結集を目指して -

期日:平成20年5月16日(金) 10:00~17:00

場所:日本学術会議講堂(東京都港区六本木7-22-34)

第1部 昆虫学関連学協会の活動の現状と課題

(10:00~12:05)

応用昆虫学分科会の目指す課題

委員長 山下 興亜(中部大学)

日本昆虫学会の現状と課題

学会長 諏訪 正明(北海道大学)

日本応用動物昆虫学会の現状と課題

学会長 國見 裕久(東京農工大学)

日本蚕糸学会の現状と課題

学会長 小林 迪弘(名古屋大学)

日本衛生動物学会の現状と課題

学会長 小林 睦生(国立感染症研究所)

日本環境動物昆虫学会の現状と課題

学会長 今井長兵衛(大阪市立環境科学研究所)

日本鱗翅学会の現状と課題

学会副会長 石井 実(大阪府立大学)

日本農芸化学会における昆虫研究の現状と課題

学会理事 長澤 寛道(東京大学)

日本農薬学会における昆虫研究の現状と課題

学会常任評議員 宮川 恒(京都大学)

第2部 日本の昆虫学研究の現状と展望

(13:00~16:10)

昆虫学への期待

山下 興亜(中部大学)

生物多様性と群集動態

湯川 淳一(九州大学・鹿児島大学)

害虫防除と生態学

中筋 房夫(岡山大学)

衛生昆虫学と感染症研究

鎮西 康雄(三重大学・鈴鹿医療科学大学)

昆虫ゲノム研究

嶋田 透(東京大学)

昆虫機能利用と技術開発

竹田 敏((独)農業生物資源研究所)

昆虫に学ぶ科学(Entomomimetic Sciences)の創成

藤崎 憲治(京都大学)

世界の昆虫研究の動向と日本の役割

佐々木 正己(玉川大学)

第3部:パネルディスカッション (16:10~17:00)

わが国の昆虫学発展のために何をなすべきか? :

昆虫学関連学協会間の連携強化策としての『日本昆虫学連合(仮称)』の設立

司会: 國見 裕久(東京農工大学)

パネラー: 昆虫学関連学協会代表(第1部 講演者)

主催: 日本学術会議生産農学委員会応用昆虫学分科会 <http://www.scj.go.jp/ja/event/index.html>

日本衛生動物学会 日本応用動物昆虫学会 日本環境動物昆虫学会 日本昆虫学会

日本蚕糸学会 日本農芸化学会 日本農薬学会 日本鱗翅学会 (五十音順)

京都大学COE(昆虫科学が拓く未来型食料環境学の創生)

後援: 日本蜘蛛学会 日本ダニ学会 日本野蚕学会

問い合わせ先: 応用昆虫学分科会幹事 嶋田 透(東京大学) TEL: 03-5841-8130

後藤千枝(中央農研) e-mail: scjentomo@naro.affrc.go.jp

参加費
無料

定員は300名です。事前登録は不要ですので直接会場にお越しください。

公開シンポジウム

「昆虫科学が拓く世界 -研究者の再結集を目指して-」の開催について

1. 主催 日本学術会議 生産農学委員会応用昆虫学分科会、日本昆虫学会、日本応用動物昆虫学会、日本蚕糸学会、日本環境動物昆虫学会、日本衛生動物学会、日本鱗翅学会、日本農薬学会、日本農芸化学会、京都大学COE（昆虫科学が拓く未来型食料環境学の創生）
2. 後援 日本蜘蛛学会、日本ダニ学会、日本野蚕学会
3. 日時 平成20年5月16日（金）10:00～17:00
4. 場所 日本学術会議講堂
5. 次第

開催趣旨

わが国の昆虫科学は常に世界のこの分野を先導してきた。この実績を継承発展させるためには、昆虫学関連のあらゆる分野の研究者が今一度それぞれの課題を持ち寄り、昆虫科学研究の学術的かつ社会的な基盤を強化拡大しなければならない。その第一歩として本シンポジウムを開催し、昆虫研究者のコミュニティーの再構築を図る契機にする。

プログラム

第1部（10:00～12:05）昆虫学関連学協会 of 活動の現状と課題

司会：田付貞洋（東京大学大学院農学生命科学研究科教授、応用昆虫学分科会委員）

1) 開会挨拶、趣旨説明

山下興亜（中部大学学長、日本学術会議会員、応用昆虫学分科会委員長）

2) 学会代表者による「活動の現状と課題」に関する講演

日本昆虫学会、日本応用動物昆虫学会、日本蚕糸学会、日本環境動物昆虫学会、日本衛生動物学会、日本鱗翅学会、日本農芸化学会、日本農薬学会

3) 総合討論

—休憩—（12:05～13:00）

第2部（13:00～16:10）日本の昆虫学研究の現状と展望

司会：小林迪弘（名古屋大学大学院生命農学研究科教授、応用昆虫学分科会委員）

1) 山下興亜

「昆虫学への期待」

2) 湯川淳一（九州大学および鹿児島大学名誉教授、元九州大学総合研究博物館館長）

「生物多様性と群集動態」

3) 中筋房夫（岡山大学大学院環境学研究科教授、応用昆虫学分科会委員）

「害虫防除と生態学」

4) 鎮西康雄（三重大学医学部客員教授、応用昆虫学分科会委員）

「衛生昆虫学と感染症研究」

5) 嶋田 透（東京大学大学院農学生命科学研究科教授、応用昆虫学分科会幹事）

「昆虫ゲノム研究」

—休憩—（14:50～15:00）

- 6) 竹田 敏 ((独)農業生物資源研究所昆虫科学研究領域長、応用昆虫学分科会委員)
「昆虫機能利用と技術開発」
- 7) 藤崎憲治 (京都大学大学院農学研究科教授、応用昆虫学分科会委員)
「昆虫に学ぶ科学(Entomomimetic Sciences)の創成」
- 8) 佐々木正己 (玉川大学農学部 生物資源学科教授、国際昆虫学会議 評議員)
「世界の昆虫研究の動向と日本の役割」

第3部 (16:10~16:55)

パネルディスカッション「わが国の昆虫学発展のために何をなすべきか？」

: 昆虫学関連学協会間の連携強化策としての『日本昆虫学連合(仮称)』の設立」

司会: 國見裕久 (東京農工大学大学院共生科学技術研究院教授・大学院連合農学研究
科長、応用昆虫学分科会副委員長)

パネラー: 第1部講演者他

閉会の辞 國見裕久

参加申込方法

当日直接会場にお越し下さい。

*定員(300名)となり次第、締め切りとさせていただきます。

問い合わせ先担当:

後藤千枝 中央農業総合研究センター 総合的害虫管理研究チーム

TEL: 029-838-8846, FAX: 029-838-8837 Email: cgoto@affrc.go.jp

嶋田 透 東京大学 大学院 農学生命科学研究科 昆虫遺伝研究室

TEL: 03-5841-8130, FAX: 03-5841-8011 Email: toru@ss.ab.a.u-tokyo.ac.jp